

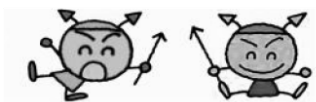


# ほけんだより

## 12月号

新型コロナウイルスがまだ厳しい状況ですが、インフルエンザやウイルス性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。こまめなうがい手洗いで、身体に病原体を入れないようにしましょう。

### ウイルス性胃腸炎に注意！



ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルスなどの感染によって突然の嘔吐と下痢、腹痛の症状があらわれ発熱する場合があります。嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状などになると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

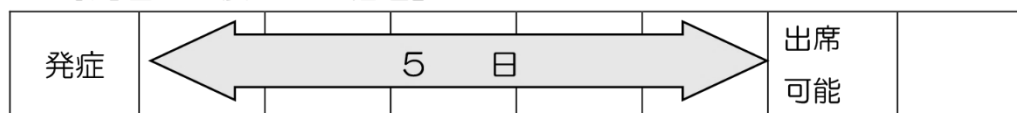
#### ・ ・ インフルエンザ後の登園について ・ ・

学校保健安全法により、インフルエンザによる出席停止期間は、**発症日**（発熱などの症状が始まった日）を0日と数え、5日を経過し、かつ解熱した後3日（幼児）を経過するまで、となっています。

#### 『解熱した後3日を経過するまで』の考え方



#### 『発症した後5日を経過』の考え方



知っておこう

## おう吐物の処理



冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルス、アデノウイルスなどによって感染します。吐物や便にはウイルスが含まれています。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふきとる。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤) を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分をふき、消毒液は十分に水拭きします。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯するか、塩素系漂白剤を少量入れて洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。